

馬入ふれあい公園

サッカー場の市民利用促進へ市の考え問う

W杯キャンプ地終了後の施設運営で論議



議員 馬入ふれあい公園に整備したサッカー場はワールドカップのキャンプでナイジェリアチームが一日使用した。十五年三月までの使用実績・予定では、三〇日間ということであるが、その使用される内容を聞きたい。

助役 本年八月～十五年三月までの予定は、小学

生対象のサッカースクーが六日間、中学生のリーグ戦が九日間、高校生を対象とした大会が七日間、大学サッカー部で五日間の使用となっている。議員 利用を限定した理由を聞きたい。

助役 芝のサッカーグラウンドは健全な生育状況と再生能力保持により、

良好な状態で長く利用できる。現在、脚力の異なる小・中・高校生の大会等に限定した試行的利用により、芝の痛み具合や再生実態の把握に努め、今後の対応を考えている。

議員 市民への開放が進まないが、今後、サッカー場の使用についてどう考えているのか。

助役 芝のサッカーグラウンドは養生期間のため一定の使用制限はやむをえないと考えている。使用制限を補完する意味から、近隣地の堤外地、四之宮グラウンド、大神市民スポーツ広場での調整を模索したい。

議員 サッカー場の維持管理費を聞きたい。

都市整備部長 芝生・管理棟等の管理業務委託料、光熱水費を含めて、年間約一四〇〇万円と予測している。

議員 芝の管理内容と月額の費用を聞きたい。

都市整備部長 芝生管理は、複数の使用形態をシミュレーションした中でデータ収集と分析を含めて委託している。管理内容は、灌水、刈り込み、施肥、除草、スパイク傷の補修等であり、月額約六二万円を要する。

多目的アリーナ 空調設備に工夫を

議員 公園内に計画している多目的アリーナは、イベントの開催も含め多目的な体育館にしたいとのことから空調設備は必要と思うが、どのような利用形態が想定されるのか。

助役 空調設備は建設検討委員会から必要性を指摘されていた。利用形態としては、現在、見附台体育館で行っている各種スポーツ大会、レクリエーション活動、産業まつり等に加えて、収納式観

覧席を活用したスポーツイベント、講演会、式典集会、展示会、コンサート等を想定している。

議員 厳しい財政状況からも空調関係は費用の節約が必要と思うが見解は。

助役 熱効率上、機械室を四か所に分散し、アリーナや観覧席では部分的に集中して送風できる方式とし、事務室、会議室は個別空調としている。

また、ロスの少ないガス熱源の高効率機器を採用し、アリーナ上部の高温を換気する送排風機の導入などで維持管理費を抑えることを考えている。

魅力ある公園づくりへ 今後の取り組み聞く



桃浜町の羽衣公園

議員 本市ではレクリエーション空間の確保、防災機能の向上などそれぞれの目的に応じたオープンスペースとして、また、地域特性を生かしながら、魅力ある公園づくりを進めている。十三年度末の公園整備状況は、二四〇か所で一一三・九六畝であるが、まだまだ公園の整備が要望されている。今後の公園整備計画について聞きたい。

都市整備部長 総合計画第二次実施計画では、横内地区に街区公園を、馬入地区と土屋地区に都市緑地の整備を予定している。その他、松風緑地と愛宕山公園の再整備が要望されている。

議員 公園の維持管理は雑草除去、樹木の剪定等が必要であるが、経費軽減対策の取り組みについて聞きたい。

都市整備部長 公園の利用者の多くは地域住民であり、公園は地域の財産ということから、草取りや清掃等について公園愛護会等ボランティアの協力を得ている。

議員 開設後、長い年月が経過する中で、状況が変化している公園もある。こうした公園の改修についてどう考えているのか。

都市整備部長 古くより、暗く、防犯上不安のある公園については、住民参加によるワークショップ等により、地域の状況に配慮し、住民が愛し積極的に利用できるような明るく安全な公園となるよう計画的に改修していきたい。

地元の存続要望にどう対処

「平塚駅～湘南平」バス路線

議員 本年七月に「平塚駅～湘南平」のバス路線廃止について、市主催の地元説明会が開かれた。この路線の沿線には福祉施設や観光地である湘南平があり、廃止となれば本路線利用者の生活に支障がでる。また、十三年十二月定例会での「生活バス路線の確保に努力する」旨の答弁に矛盾する

が、協議の結果は事業者の経営判断を拘束するものではない。地元説明会の開催主旨は事業者の意向を急ぎ地元へ伝えるためであり、市の考え方は従来と変わっていない。

議員 地元自治会は、路線廃止反対の一万五〇〇人の署名を短期間で集め、事業者へ申し入れ書市に対して要請書を提出したが、これについて市はどう考えているのか。

道路部長 署名には地元の路線存続への願いと愛

着が感じられる。この地元の思い、熱意に十分配慮しながら、法改正の趣旨にのっとり路線確保に努力していきたい。

議員 この路線確保に向けてどう取り組むのか。

道路部長 事業者とは協議中であり、今後、地元事業者、市の三者による話し合いの場を設けることとの了解を得ている。また、国、県、市、バス事業者による地域協議会へも地元の意見が反映できるよう努めていきたい。



核となる施設のイメージ図

議員 花と緑のふれあい拠点(仮称)構想については、パブリックコメントによる意見収集などを実施したとのことだが、まず、核となる部分の計画が感じられる。この地元の思い、熱意に十分配慮しながら、法改正の趣旨にのっとり路線確保に努力していきたい。

議員 この路線確保に向けてどう取り組むのか。

道路部長 事業者とは協議中であり、今後、地元事業者、市の三者による話し合いの場を設けることとの了解を得ている。また、国、県、市、バス事業者による地域協議会へも地元の意見が反映できるよう努めていきたい。

議員 花と緑のふれあい拠点(仮称)構想については、パブリックコメントによる意見収集などを実施したとのことだが、まず、核となる部分の計画が感じられる。この地元の思い、熱意に十分配慮しながら、法改正の趣旨にのっとり路線確保に努力していきたい。

議員 この路線確保に向けてどう取り組むのか。

道路部長 事業者とは協議中であり、今後、地元事業者、市の三者による話し合いの場を設けることとの了解を得ている。また、国、県、市、バス事業者による地域協議会へも地元の意見が反映できるよう努めていきたい。

議員 市で行う周辺整備の計画について聞きたい。

経済部長 本市が整備する周辺の「農の体験・交流の場」については、市民農園、ほ場、観光農園、花畑、農産物の直売所等を検討している。ここでは、農作物の栽培や収穫体験により農業に触れあえる場や農業者との交流により農業の現状や大切さを理解できる場として整備し、農業に関する新たな意識の創出につなげていきたいと考えている。

議員 この構想の実現に向けてどのような作業を

議員 市ではレクリエーション空間の確保、防災機能の向上などそれぞれの目的に応じたオープンスペースとして、また、地域特性を生かしながら、魅力ある公園づくりを進めている。十三年度末の公園整備状況は、二四〇か所で一一三・九六畝であるが、まだまだ公園の整備が要望されている。今後の公園整備計画について聞きたい。

都市整備部長 総合計画第二次実施計画では、横内地区に街区公園を、馬入地区と土屋地区に都市緑地の整備を予定している。その他、松風緑地と愛宕山公園の再整備が要望されている。

廃校後の跡地利用は

県立平塚西工業技術高校

議員 十五年四月から県立平塚西工業技術高校は、県立平塚工業高校と統合され、新設高校として発足するため廃校となる。この廃校後の土地利用等については市民のためになる施策を考えるべきであるが、県とどのような交渉をしているのか。

市長 当該地は県道平塚秦野線や整備中の市道に接し、国道一号線に近い交通の利便性が高い場所である。県は自らの利用計画はなく、跡地を売却